

\*\*\*\*\*

# 学友援 ニュース・レター No.32 2011. 11. 28 (月)

発行：金沢大学学友支援室 tel.076-264-5081 [gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp)

[http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad\\_gakuyu/index.html](http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/index.html)



## 11月5日 第5回ホームカミングデイ開催 学友会設立総会・歓迎式典に210名、学友会設立記念パーティに105名

11月5日、角間キャンパスで第5回金沢大学ホームカミングデイが開催され、卒業生180名(家族等を含む。)、教職員・学生30名、計210名が出席しました。前日に始まった第48回金大祭や加賀藩彦三種痘所跡地で11時から行われた石碑「金沢大学発祥の地」の除幕式を見学後、主会場の自然科学大講義棟に向かった人も多く、13時の金沢大学学友会設立総会開始時には、会場はほぼ満席となりました。(学友会の概要等は次号で紹介の予定)

金沢大学学友会設立総会



竹田亮祐 同窓会  
連絡協議会長

深山彬 学友会会長

### 金沢大学学友会 初代会長に 深山 彬 氏

「第一部」の金沢大学学友会設立総会では、はじめに学友会設立準備組織である同窓会連絡協議会幹事会を代表して同窓会担当の古川仰理事・副学長が、開会の挨拶を兼ねて、学友会設立に至るまでの大学と同窓会との協議等の経緯についてスライドも使って詳細に述べ、「大学と同窓会との信頼関係積み上げの努力の結果として今日の学友会があり、それはトップである中村学長の確固たる決意が土台にあります。今後も、連絡協議会設立総会で確認された『卒業生は大学の重要な構成員』という初心を忘れることなく、本学は同窓会活動への支援を続けていく」ことを強調して報告を結びました。

次いで事務局から、学友会会則、役員構成、学友会への登録状況等について報告が行われた後、初代学友会会長に深山彬(みやま・あきら)氏(昭和38年法文学部卒)が選出され、出席した副会長、代表理事、理事及び監事も順次紹介されました。最後に、同窓会連絡協議会の竹田亮祐会長から、「大学とは何か」が改めて問われている昨今、学友会の重要性について触れた上で、同窓会連絡協議会の役割が発展的に終了した旨の挨拶があり、閉会しました。



歓迎の挨拶を述べる中村学長



式典のはじめに出席者全員で金沢大学校歌を斉唱



学長表彰を受ける学生5団体、2個人

「第二部」の第5回金沢大学ホームカミングデイ歓迎式典の挨拶で中村信一学長は、東日本大震災における学生ボランティアや教員の貢献を含めたこの1年間の金沢大学の教育研究活動の推進状況や今年新たに設置した石碑「金沢大学発祥の地」について報告し、併せて、1億円を超えた金沢大学基金への卒業生の大きな協力で謝辞を述べました。

続いて、同窓会を代表して就任直後の深山学友会会長から「母校の強力な応援団として一回り大きくなった学友会へ一層強い結集」を訴える挨拶があり、来賓5名、基幹同窓会の代表8名及び登録同窓会の代表13名、学長ほか出席の大学役員、部局長等も順次紹介されました。

また、昨年のホームカミングデイ以降に課外活動や社会活動において功績のあった5団体の代表者と個人の2名に学長表彰が授与され、さらに金沢大学基金に個人で100万円以上寄附した方々の芳名と出席者が紹介されました。

本学大学院医学系研究科の三邊義雄教授(昭和53年医学部卒)が「子どものころ・21世紀の新しい精神医学」と題して記念講演。本年のNHK新人芸能大賞受賞の桂まん我さん(平成6年工学部卒)による「上方落語独演会」を最後にプログラムは終了し、来年の再会を期して散会となりました。



記念講演の三邊教授



熱演する桂まん我さん



上方落語独演会に笑顔が広がる歓迎式典会場

閉会の挨拶を述べる古川理事・副学長



先魁 共存 創造 金沢大学は2012年に創基150年を迎えます。



「六段の調べ」を演奏する琴尺八部

会場を金沢城公園五十間長屋に移して開かれた「第三部」の学友会設立記念パーティには105名が出席。本学学生サークル琴尺八部の「六段の調べ」の演奏で幕を開けた記念パーティは、金大生協から提供された創基150年記念オリジナルワイン GRATITUDE により、同窓会連絡協議会を牽引した竹田亮祐氏の発声で乾杯し、懇談に入りました。途中、職域、地域の代表が次々と挨拶に立ち、学友会と大学への結集の決意を表明。北の都会月例会世話人の有志は、法経文学部同窓会の本部・支部、金沢工業会東京支部、薬学関東同窓会等が作成した金沢大学懸垂旗（縦280cm×幅90cm）と目録を読み上げて深山会長に手渡しました。そして同世話人有志の先導で、出席者全員で校歌と四高寮歌「北の都」「南下軍」を高唱し、最後に岡田晃元学長が三本締めで会を締め、散会しました。



三本締めを行う岡田元学長



校歌と四高寮歌を高唱（北の都会月例会世話人有志の皆さん）

**ご協力ありがとうございました。**

◇金沢大学学友会設立記念パーティ収支報告◇

(収入) 一般参加者(有料) @5,000×86名=430,000円  
 学長・役員・部局長等@7,000×19名=133,000円  
 小計 563,000円(A)  
 (支出)  
 和洋中三段弁当・飲み物@5,000×112個=560,000円  
 当日欠席者5名分飲み物代控除@1,500×5=△7,500円  
 小計 552,500円(B)  
 差引残 (A-B) 10,500円 ⇒ 金沢大学基金に寄附

**第4回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム開く**

10月29日、東京一ツ橋の学術総合センターで開催した第4回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム・Features for the Futureには、卒業生を含めて約100名の参加がありました。「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を大学憲章に掲げる本学が有する世界に誇る先端研究を紹介することを目的として2008年度から開催しているもので、今回は「新研究領域を拓く一若手研究者による挑戦」をテーマに、フロンティアサイエンス機構の3名の若手研究者が、それぞれ生命科学、ナノテクノロジー、大気環境の先端研究について講演。また、医薬保健研究域医学系の金子周一教授が、肝臓の役割について特別講演しました。



**短信(1)**

昨年、全学部を横断し発足した北陸電力金沢大学同窓会の第2回会員総会を、去る10月21日、大学から古川副学長はじめ濱田監事、西谷学友支援室長をお迎えし、富山市内で開催しました(会員187名、出席59名)。学友会に登録したこと等の報告後、大学への寄附金の贈呈が行われ、新木会長から「本会は各会員の『止まり木』となって相互の親睦を深め、また母校への物心両面の支援を図っていく組織である」旨の挨拶がありました。身近なところにも同窓生がいることがわかり、同じ大学を卒業した先輩、後輩として、懐かしい往時を思い起こすなど楽しいひと時になり、新たため同窓生の結束を確認する機会となりました。福井支店 松田光司 (s60 経済学部卒)



**アジア5大学学長フォーラム in 金沢**

11月12日、石川県立能楽堂において、金沢大学創基150年記念の事業として「アジア5大学学長フォーラム in 金沢」を開催し、学内外から400人が参加しました。本学の重要なパートナーであるアジア圏の諸大学の「生の声」を聞き、「アジア文化圏」の現在と未来における大学の役割を共に考えることを目的として開催したもので、北京大学、釜山大学、チェンマイ大学、ベトナム国家大学ハノイから学長等をお招きしました。

このフォーラムを機に、今後も意見交換を行っていくことが申し合わされ、釜山大学からは、次回開催の意向が表明されました。



**短信(2)**

10月29日、古川理事・副学長と西谷学友支援室長に遠路札幌までお越しいただき、36名の出席者で北海道学友会の設立総会を開催しました。おかげさまで、なごやかな、とても良い会になったと思っています。初対面の方々とも旧知のように話せるのは、学生時代に共通の時間を共有したせいでしょうか。「金沢市・学び舎の今日」もスライドで紹介していただき、私の記憶から大きく変わった金沢の街並みと、変わらぬ学生街の雰囲気を感じ、しばし思い出にふけることができました。新たな知己を得ることができ、とても楽しい機会となりました。北海道大学大学院医学研究科 神谷温之 (s62 医学部卒)



**行事等の予定**

◀11月下旬以降▶ ◆金沢工業会全国総会・東海支部総会(11/26 刈谷市Dスクエア) ◆薬学同窓会報発行(11/下旬) ◆金沢工業会静岡支部総会(12/3 みしまプラザホテル) ◆金沢工業会誌第167号発行(12/下旬) ◆関西薬学同窓会総会(2/18) ◆法経文学部同窓会富山支部総会(2/ )